

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	家電量販店（営業統括）	単価の動き	・高額のデジタル家電商品、A/V関係商品の動きが非常に良くなっている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・気温の低下により、防寒物の動きが活発なことに加え、春の新作も良く売れている。
	やや良く なっている	百貨店（企画担当）	来客数の動き	・初商の福袋、クリアランスともに、比較的順調に推移している。紳士服や婦人服といった衣料品の好調さが全体をけん引している。食料品は、地域内のリニューアル競争の激化でやや伸び悩んでいるが、全般的には好調である。
		百貨店（広報担当）	販売量の動き	・1月は昨年8月以来5か月ぶりに、全店舗で前年実績を上回っている。前年1月に比べて営業日が1日多かったことや、閉店時間の繰下げによる効果が大きいが、その分を除いても好調である。食品、婦人、紳士、リビング関係の全部門で、前年実績を上回っている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が11月には99.7%、12月は100.8%、1月は101%と、前年を上回り始めている。売上は前年比99.5%であるが、初売りの福袋を始め、年始のクリアランスが好調である。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・売上は良くないと予測していたが、水産物が売れたため、単価が上がり、3か月前と比べて、やや良い結果となっている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・11～12月は、前年の売上実績をかなり下回っていたが、1月の売上は前年並みに回復している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・この数か月で、前年比でみて来客数が増加している。増加率も上昇しているため、景気は少しずつ良くなっている。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・ブラウン管から薄型テレビへの買換えが明確化している。地上デジタル放送や、オリンピック、ワールドカップ予選等、番組を大画面で見たいという客があり、テレビの買換えやDVDレコーダー等の動きが活発になっている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・12～1月にかけて、販売量が前年を上回るようになっている。来客数も増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・賀詞交換会の出席者の会話の内容が、明るくなっている。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・海外旅行の受注が、前年を上回る日が多くなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・深夜を除き、無線本数及び駅構内の動きが出ている。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・固定的な取引先だけでなく、流動的な取引先からも受注案件が増加している。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・1月25日現在で、来客数が前年比143%と増加している。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・例年1月は新春キャンペーンを正月休みに行うことで販売量が増加するが、今年は12月の契約予定客のずれ込みや現行住宅ローン減税の1年延長等、様々な要因があったため、販売量が例年以上に増加している。	
変わらない		一般小売店〔米穀〕（経営者）	単価の動き	・8,000円で有名産地の米を売っている。以前はもっと高くても売れていたが、現状では販売量が30%以上減少している。客が安い店で買うようになっているのかも知れない。
		一般小売店〔衣料・雑貨〕（経営者）	お客様の様子	・年末から正月にかけて暖冬が続き、近隣の寺院への初参りの人出が前年より多く、初物商品のセールを早めに行って売り切った。その後は、単価は低いが、厚手の冬物の単品が売れている。きれいな色の春物衣料にも動きが出ている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・高単価商品の動きが少しずつ出ているものの、ボリューム層では価格に対する見方が更に厳しくなっており、競合他店、他業種との競合が激化している。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・気温の低下により、防寒物のセールはほぼ順調に推移しているものの、冬物の在庫がまだ相当残っているため、春物を本格的に店頭に出せない。

百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・初売りから、紳士、婦人衣料品、雑貨のセールを開催しているが、特に悪い部門はないものの、各部門とも前年実績を若干割り込んでいます。一方、高額品の特展会や値頃感のある食料品の催事等への客の反応は良く、1月は全体として前年実績を何とか確保できる。
スーパー（経営者）	販売量の動き	・販売量はやや減少しているが、平均単価が上がっている。
スーパー（経営者）	単価の動き	・相変わらず客単価が低下している。米は値上がりしており、売上也上がっているが、それ以外の商品の単価が低下しているため、全体としては昨年よりもやや低い。
スーパー（店長）	単価の動き	・今年の正月は福袋、くじ引き等の催事と刺身、寿司、牛肉等のグレードの高い食料品の動きが良く、前半の売上は好調に推移していたが、後半は鳥インフルエンザの影響で精肉の売上が10%程度落ち込んでいる。
スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は97%で、売上は5%の減少となっている。寒くなっても、防寒物がなかなか売れず、春物の展開は拡大しているが、客の注目をまだ集めていない。
スーパー（運営担当）	単価の動き	・来客数は徐々に上がってはきているが、買上単価は上昇していない。買上単価がまだ不振のため、まだまだ景気は上向いてはいない。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・2月3日の節分用のかぶり寿司の予約は、前年比3割増となっている。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・弁当類、乳製品の販売は減少しているが、惣菜パン、即席麺、アイスクリーム等の需要が多少増加している。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・冬物バーゲン中であり、割引率の高い商品は良く動くが、割引率が低い商品は動きが悪い。
家電量販店（営業部長）	販売量の動き	・デジタルAV家電が好調で、天候要因による季節商品の不振を補っている傾向が、年末以降続いている。パソコンも春モデルが発売され、滑り出しは順調である。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・4、5日の初売り後に入れたチラシの効果もなく、来客数が増加しない。
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・高級車のモデルチェンジがあり、新車の販売台数は予算達成率94%だったが、前年比では32%増加している。しかし、収益源として力を入れている中古車の販売台数が予算の90%、サービス売上が89%に終わり、足並みがそろわない。
その他専門店 [キャラクターグッズ]（従業員）	来客数の動き	・福袋の販売は前年と比較して好調だったが、1月の第3週目からは売上が減少している。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・家族での来店が少ない。
一般レストラン（店長）	単価の動き	・客がビールや日本酒でなく、比較的安い焼酎で済ませている状況が続いている。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・年末年始の最繁忙期に関しては、国内外ともに販売量が増え、単価も例年より良かったが、通常期に入り、販売量が増加していない。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新年に入り、販売量が上向いていない。
タクシー運転手	お客様の様子	・1月は酒を飲む機会が多いので、タクシーの利用客も多いが、ピークは15日までで、成人式が終わると暇になっている。どの駅に行ってもタクシーの行列が目立つ。
タクシー運転手	お客様の様子	・深夜でも、電車やバスの運行時間中はタクシーの利用客が相変わらず少ない。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ケーブルテレビの放送サービス、インターネットともに、新規加入数は横ばいが続いている。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客は商品に関心を持っているが、サービス内容よりも価格重視の傾向が強く、低価格化や消費の慎重さに変化はみられない。
その他レジャー施設（経営企画担当）	お客様の様子	・新規施設や人気コンサートは好調であるが、それらに付随する商品やサービスへの波及は弱い。客からの支持は実感できるものの、購買姿勢は依然として慎重である。

		その他サービス 〔学習塾〕（経営者）	来客数の動き	・1月は生徒数の減少が止まっている。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・計画の決定までには、依然として時間がかかっている。また、建物の計画も動きがあまり出ていない。
		住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・住宅の分譲現場で、値引きを要請する客が多い。
やや悪くなっている		一般小売店 〔茶〕（営業担当）	単価の動き	・納品先から単価の見直しを迫られている。他の仕入品に対しても同様に見直しをしているようである。
		百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・福袋の販売や冬物セールのはじめは、来客数が前年を上回っていたが、月全体ではほぼ前年並みである。ただし、営業日が1日多かったことや閉店時間を30分延長していることを考えると、来客数の減少傾向は否めない。
		スーパー（管理担当）	単価の動き	・来客数は108%と増加しているが、平均客単価が93.4%となっている。買上点数の減少や客単価の低下が、売上に大きく響いている。
		スーパー（管理担当）	お客様の様子	・来客数が昨年同時期よりも減少している。買上点数は増えているが、単価は低下している。客は安い商品しか購入しない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が1日当たり100名程度、日販金額で11～12万円程度減少している。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・来客数が減少し、客単価も低下している。客は無駄な物を購入せず、購入態度がシビアである。バーゲンにも以前のように大きな興味を示さなくなっている。
		高級レストラン（支配人）	単価の動き	・ビールを2杯ではなく1杯にするなど、飲料の注文が減少しており、昼の客単価が3か月前より380円下がっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少し、単価も低下している。特に、1月からは、BSEや鳥インフルエンザ等の影響もある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新年会などがあり、金曜日、土曜日の利用はやや多いが、それ以外の日は、客は終電車の前には帰宅しており、タクシーの利用は少ない。
悪くなっている		衣料品専門店（販売担当）	販売量の動き	・来客数が減少し、客単価も落ち込んでいる。客の買上点数も減少している。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・問い合わせの電話はあるが、申込までには至らず、3か月前と比べると悪くなっている。
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・計画物件がほとんど入らず、今までの計画物件も進展していない。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	出版・印刷・同 関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今年の1月は、会社合併に伴う名刺等の特需など、例年になく企業からの注文が多い。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・毎年1月は営業日数が少なく、売上が減少するが、今年は10%増加している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・全国からの引き合いが増加している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先業者の話では、忙しい事業所がかなり増えている。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・当社の取引先である半導体業界では、久しぶりに業況が良く、その影響で荷量は増加傾向にある。
変わらない		出版・印刷・同 関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は上向きであるが、依然として価格は低水準である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は10月比100%と、状況は変わらない。
		建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・企業の設備投資により、建設業の景気はやや持ち直してきたと言われているが、周りの受注量を見ると、まだ中小企業までは波及していない。
		建設業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・競争入札では、いまだに採算割れの水準での落札がほとんどである。案件が少ないため、そこまでして仕事を確保している会社が多い。

		通信業（営業企画担当）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> 客は、高額であっても価値を認めるものには金を出す傾向がある反面、品質やサービス内容が標準化されている商品については、価格に対してシビアである。 法人ユーザーについても、社内での経費節減策が推進されており、価格に対してシビアである。
		金融業（審査担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 一部の製造業では売上が回復しているが、大半は依然として低迷している。
		金融業（渉外・預金担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 客から、末端企業や中小企業には、一般に言われている景気回復の影響はほとんどないと言う話をよく聞く。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 今年度予算で実施予定の通信設備工事について、予算の不足から下期分の設備更改の規模が縮小している。
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> 受注が減少し、仕事量が減っている。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	<ul style="list-style-type: none"> 来客数は相応にあるが、成約に至る件数が減少しており、景気が回復しているとは言えない。
		不動産業（総務担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 大口テナントの退去によって、空室率が上昇する一方、賃料単価の下落も依然として続いている。
	悪くなっている	輸送業（総務担当）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> 得意先は、当社の荷扱単価を引き下げ、荷扱人員を減らすことにより何とか赤字から脱却する考えで、当社も人員削減を具体的に検討している。この業務は労働集約型なので、料金等の引き下げと人員削減は経営上非常に厳しい。
雇用関連	良くなっている	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 採用決定年俸が落ちる傾向は続いているが、新規の中途採用を開始する業界が出てきている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> 新たな派遣採用のほか、人材紹介や紹介予定派遣で雇用をする企業が出てきている。新規事業や販売促進等の一時的な営業活動のために、派遣の活用を考えている企業もある。1月は派遣契約終了が少なく、新たにスタートした件数が多い。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 通常、1月には求人数が減少するが、今年は減少していない。中規模の情報産業関連企業が採用を始めている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 中途採用では、IT系企業の採用が目立つ。新卒では、重厚長大型企業の採用が一部で復活しており、電機メーカー、大手金融の採用意欲も高い。財団法人、特殊法人の募集もある。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	採用者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 中途採用の広告が増加している。企業収益が大きく伸びて、優秀な人材の確保に注力する企業が多くみられる。外資系企業の求人も動き始めている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 依然として、求人の伸びを支えているのはパートタイマー等の不安定型雇用求人ではあるが、求人全体としては堅調な動きとなっている。 製造業からの求人の動きは、一時期ほどの力強さがみられないが、卸、小売業、サービス業からの求人にも堅調な動きが現れている。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 年度末の繁忙期に向け、短期的、一時的に大量に人材を増強する会社があるが、長期求人の動きは横ばいである。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> 製造業の請負業者で、単発的な人員整理が目立つようになっている。
		学校〔専修学校〕（就職担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 求人票獲得状況が6か月間、昨年同月比でほぼ横ばいの数で推移している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> 百貨店の中には、百貨店100%出資の派遣会社から採用するところもあり、現在就労しているベテランが仕事を外されるケースが出ている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	<ul style="list-style-type: none"> 求人数が減少していることに加え、雇用形態も直接採用が少なくなり、派遣や業務共有に切り替わっているため、企業からの注文が減少している。
	悪くなっている	-	-	-